



さくら並木

地区別懇談会を終えて ～『地域の10年先の話』しませんか～

大河原町長 齋 清志



11月14日、役場大会議室で開催された地区別懇談会

先ず、この度の職員の起こした不祥事(傷害容疑)につきましては誠に遺憾であり、町民の皆さまには心より詫言申上げます。公僕としての自覚と倫理意識の徹底を促し、再発防止を強く求めたところです。さて、現在町では平成31年度からの長期総合計画および国土利用計画の策定を進めています。計画策定にあたり、住民の意見を広く計画に反映させるために、町内を5地区に分けて懇談会(11月8日～14日)を開催しました。今回は、各地区ごとに開いたり、関心の高いテーマを設定し、さらに町での方針が決定されていない悩ましい問題も取り上げました。

また、『地域のこの先10年の話』しませんかという問いかけが、町側からの一方的な説明や住民の要望を単に受け付けるものではないという理解に繋がったと受け止めております。何れにしろ、率直な意見をたくさんいただくことになり感謝に絶えない次第です。町民の皆さまと一緒に考え、未来に繋がるまちづくりに向けて共に行動するための出発点として、この成果をしっかりと将来に活かしてまいらる所存です。紙面の都合上、一つ一つ具体的に取り上げることはできませんが、総合的にまとめたいと思います。やはり、一目千本桜の保護と活用や白石川右岸河川の拡充や一体感のある交流の拡大に繋げながら、地方創生や観光復興事業の成功事例となるよう足早な展開が求められていると認識したところです。また、将来の公共施設の在り方や行政区の見直し、さらに求められる子育て支援策等につ

いても数多くの意見をいただきました。10年先の学校の姿や集会所等の老朽化した施設の抱える課題についても忌憚のない発言が続く、結論を導くことに繋がるような熱い思いを語っていただいたことが印象的でした。その他にも人口減少地域を取り巻く課題と、農業や商業の活性化等産業振興への提言やご不満、さらには中央公民館リニューアル後の活用アイデア等についても提案がありました。最後に、本町の要介護認定率が低いことを中心とした高齢者への支援策では、かかりつけ医が充実し本町の高齢者の健康意識が極めて高いことなどに理解が広がりました。一方、地域包括ケアシステムの真の実現に向けて、専門的なサービスと共に地域で多様に支え合う仕組みをどう実現させていくか、が重要な課題であることが浮き彫りとなりました。本町に実りの多かった地区懇談会に心より感謝申し上げます。職員と共に、『役場は誰のためか』を正しく理解し、住民主権のまちづくりに邁進してまいります。(11月20日記)

駅前図書館今月の新刊 まちの本棚

一般 ■ひとつの野菜で作る常備菜
庄司 いずみ/著
【世界文化社】
作りおきがブーム。でも冷蔵庫のおかず、本当に食べきれずいませんか？手軽に作れてそのまま食べたり、薬味をちよい足したりしても美味しい、ひとつの野菜で作る常備菜を紹介いたします。アレンジ術も掲載。

小説 ■ホワイトラビット
伊坂 幸太郎/著
【新潮社】
その夜、街は静かだった。高台の家で、人質立てこもり事件が起こるまでは…。仙台で発生した人質立てこもり事件。S-I-Tに所属、宮城県警を代表する優秀な警察官も現場に急行し、交渉を始めるが…。予測不能の籠城ミステリー。

児童 ■生き物の体のしくみに学ぶテクノロジー
石田 秀輝/監修
【PHP研究所】
背(せ)の高い木はどうやって水を先端(せんたん)まで運ぶのかな？さむくて食べ物が少ない冬をどうやって生きのびているのかな？細菌(さいきん)がたくさんいるところ、なぜ病気になるのかな？生き物の体のしくみがある、すごいテクノロジーを写真とイラストで紹介(しょうかい)します。

絵本 ■ほく、ママとけいんすー！
のぶみ/さく
【講談社】
4さいのときに、ママとのつらいわかれをしたかんたろう。ところが、くるまにぶつかっておぼけになったママは、よる12じすぎると、なぜかかんたろうのまえにあらわれるように。それからかんたろうは、せいちようして、こいびとができて、しばらくたちました。きょうはようやく、けいんすーです。おんげになったママは!!

学び舎通信

町内小中学校の情報を
毎月お届けします

大河原南小学校

楽しかったおいしかった「もがり祭」
「みんなの思い出に残る楽しいもがり祭」をテーマとして、第37回「もがり祭」が盛大に開催されました。雨天にもかかわらず、齋町長様をはじめ、多くの皆さんにおいでいただき華を添えていただきました。縦割り班のリーダーとして下級生

のお世話を行った4年生、出店の企画・運営とモガレンジャーで盛り上げた5年生、かまど係や餅係として雨と煙のなか、奮闘した6年生など、上学年児童は役割と責任を十分に果たし、下学年は思う存分楽しんで行事となりました。これからも地域と一体となり、伝統を引き継いでいきたいと思います。



大河原中学校

「おおがわらの志教育」
「生き方を考える」
10月31日に町内のいろいろな職業のかたを7名お招きして、「職業人に聴く会」を行いました。やりがいや苦労などその職業ならではの話や、中学生が今頑張らなければならぬことなど、貴重なお話を聴くことができました。

本校では、1年生で「職業人に聴く会」、2年生で町内事業所での「職場体験」と伝統ある「立志式」、3年生の修学旅行での「職場訪問」を行います。また、志集会では、様々な分野で活躍している卒業生を招いてお話をいただきます。



暗唱大好き シリーズ⑳ 金中編

本校朝の活動は朝の会後の10分間の朝学習でスタートします。生徒一人一人の学力向上を目指して設定されているものです。チャレンジャタイムと称して学習プリントに取り組んだり、朝読書に励んだり校舎全体を静寂が包む時間です。ただし、週1回の暗唱の時間だけは別で、ひときわにぎやかな声が聞こえる朝となっております。暗唱に取り組む生徒の音が重なり合って教室の外まで響きわたり、



学校に活気があふれます。半年あまりの活動で、1年生の暗唱カードにもたくさん合格シールが並ぶようになってきました。和気あいあいとした雰囲気の中で、お互いの暗唱を確認しあう姿はほほえましいものです。暗唱の活動は、じわじわと生徒の将来に役立つ力をつけることをねらったものです。日々のわずかな時間の積み重ねが大きな差となることを期待しています。